

春の議会だより

◇主な内容

- | | |
|--------------|------|
| ・2月会議で決めたこと | 2P～ |
| ・どえーな予算のあと？ | 4P～ |
| ・一般質問（9人が登壇） | 10P～ |
| ・市民の声 | 15P |
| ・議会だよりクイズ | 16P |

「お外あそびが
気持ちいい～♪」

芦辺町めぐみ保育園

2月会議で決めたこと

◇地域防災計画（原子力災害対策編）の作成

原子力災害対策の基本となる計画で、国県の計画に基づき関係行政機関等と緊密に連携を図った上で作成している。



Q あくまで玄海原発事故を想定したもので、津波等による原子力事故が発生した場合の市民に対する広報誘導はどう対応するか。また避難所について、標高の低い避難所の整備をするのか。

場合の市民に対する広報誘導はどう対応するか。また避難所について、標高の低い避難所の整備をするのか。

A 誘導は、緊急告知放送、ケーブルテレビ、FMラジオ、防災メール等で行う。避難指示が必要な場合は消防本部、消防団、市職員の車両による広報となる。避難施設は市内全体で68ヶ所のうち15施設が標高5m未満など津波には不適当な施設である。安全性を最優先に代替施設の確保など指定避難所の見直しをする。

◇職員給与に関する条例の一部改正

平成20年10月から職員給与を5%カットしているものを平成26年3月まで引き続き延長するもの。



Q 吉崎市の職員給与は長崎県下13市で一番低い。經常収支比率も一番低く、財政健全化のため非常に努力している。しかし長崎県の25年度重点項目では、給与カットもしていない五島、対馬に力を入れている。県に吉崎への予算措置など手厚い方向性を要求しては。

吉崎市の職員給与は長崎県下13市で一番低い。經常収支比率も一番低く、財政健全化のため非常に努力している。しかし長崎県の25年度重点項目では、給与カットもしていない五島、対馬に力を入れている。県に吉崎への予算措置など手厚い方向性を要求しては。

A 吉崎は市民病院の問題や、企業誘致のことなどで支援を受けている。今後は第一次産業に対する拠点設備を吉崎につくる話もあり県との連携を密に要望していく。

ちょっと一言



反対討論 職員給与カットには賛成していたが、市長をはじめ特別職だけ給与カットなしでは職員との信頼関係が崩れると考え反対する。

◇空き家等の適正管理に関する条例の制定

生活環境の保全及び防犯のまちづくりを推進するため、管理不全な状態にある空き家等に対する措置を定めるもの。



Q この窓口はどこになるか。また、行政代執行までの手順はどのように。

A 市役所総務課総務班が窓口。行政代執行までの手順

- ①指導勧告（勧告の内容、必要な措置、措置の期限を明記）
- ②措置命令（命令の内容、履行期限を明記する）
- ③公表（命令に従わない空き家等の所有者の住所氏名等を公表）
- ④命令不履行勧告（さらに期限を明記し適正管理を勧告）
- ⑤代執行令（市が所有者に代わり空き家の適正管理を執行する）
- ⑥支払請求（代執行に要した費用を所有者に請求）



◇附属機関設置条例の一部改正

市庁舎建設検討委員会を新設するもの。



Q 委員10名はどのような人選で構成されるか。

A 有識者、市民、各団体等、また公募も含め人選を検討しており、新年度早々に立ち上げる。

ちょっと一言



市庁舎が集約された場合の高齢者等の利便性を考え、住民票、印鑑証明書の自動交付機の設置なども同時に検討してほしい。

●平成25年度 当初予算

総 額 311億5,346万3千円

一般会計 208億1,900万円

特別会計 103億3,446万3千円

○平成25年度 会計別 予算額一覧

(単位：千円)

会 計 名		平成 25 年度	平成 24 年度	増減額	伸び率
一 般 会 計		20,819,000	19,110,000	1,709,000	8.9
特 別 会 計	国民健康保険事業特別会計	5,005,526	4,738,586	266,940	5.6
	後期高齢者医療事業特別会計	295,920	306,594	△ 10,674	△ 3.5
	介護保険事業特別会計	3,104,893	3,002,554	102,339	3.4
	簡易水道事業特別会計	800,841	895,965	△ 95,124	△ 10.6
	下水道事業特別会計	430,040	401,985	28,055	7.0
	特別養護老人ホーム事業特別会計	456,070	453,214	2,856	0.6
	三島航路事業特別会計	124,614	121,224	3,390	2.8
	農業機械銀行特別会計	116,559	112,600	3,959	3.5
	合 計	10,334,463	10,032,722	301,741	3.0
一般会計、特別会計の合計		31,153,463	29,142,722	2,010,741	6.9

○平成25年度 企業会計予算額一覧

(単位：千円)

会 計 名	内 訳	平成 25 年度	平成 24 年度	増減額	伸び率
病院事業会計 (4月から、かたばる病院と統合)	収益的收入	2,675,912	2,388,653	287,259	12.0
	収益的支出	2,733,338	2,491,880	241,458	9.7
	資本的收入	324,712	192,671	132,041	68.5
	資本的支出	382,233	248,935	133,298	53.5
水道事業会計	収益的收入	156,878	160,908	△ 4,030	△ 2.5
	収益的支出	150,832	150,463	369	0.2
	資本的收入	2,197	2,148	49	2.3
	資本的支出	156,005	162,385	△ 6,380	△ 3.9

●平成24年度 補正予算(8号)

一般会計 8億6,610万円増額

特別会計 3億2,074万5千円増額

○平成24年度 会計別 補正予算額一覧

(単位：千円)

会 計 名		現予算額合計	12月補正予算額	補正後予算額合計
一 般 会 計		21,915,765	866,100	22,781,865
特 別 会 計	国民健康保険事業特別会計	4,862,910	155,976	5,018,886
	後期高齢者医療事業特別会計	306,594		306,594
	介護保険事業特別会計	3,027,618	1,334	3,028,952
	簡易水道事業特別会計	885,738	129,745	1,015,483
	下水道事業特別会計	387,905	33,690	421,595
	特別養護老人ホーム事業特別会計	449,693		449,693
	三島航路事業特別会計	124,914		124,914
	農業機械銀行特別会計	128,985		128,985
	合 計	10,174,357	320,745	10,495,102
一般会計、特別会計の合計		32,090,122	1,186,845	33,276,967

※市監査委員の選任

郷ノ浦町 吉田 泰夫 さん (再任)

※市固定資産評価審査委員会委員の選任

石 田 町 松本 陽治 さん

郷ノ浦町 草野 正純 さん (再任)

※市教育委員の任命

芦 辺 町 久保田良和 さん (再任)

勝 本 町 小畑 英治 さん (再任)

芦 辺 町 占部 利夫 さん (再任)

『どえーな予算のあと？』



◎平成 25 年度 一般会計（当初予算）

新規事業等

① 合併記念式典 692万4千円

平成26年3月1日に合併10周年記念式典を開催し、併せて記念誌を発行。

② 離島交流事業 3,650万円

元プロ野球選手の村田兆治氏提唱の「離島甲子園」としても名高い、全国離島交流中学生野球大会を壱岐で開催。



「全国離島交流中学生野球大会」
壱岐開催は8月19日～23日の予定

③ 地域おこし協力隊事業 1,876万円

地域づくりに意欲的な隊員を大都市圏から募集し、本市観光情報の発信、地産地消の推進、商品デザイン等を立案し、地域資源の掘り起こしや新たなアピール方法を実施するなど地域力の維持・強化を図る。（4名募集3年間の活動予定）

④ 健康管理システム整備 1,820万円

がん検診、予防接種、母子保健事業等の健康管理システムを導入し、データを一元的に管理し、市民の健康に関するデータ分析等が可能となり効果的な健康づくりを推進する。

⑤ 旧廃棄物処理施設解体と跡地活用 1億7,250万円

石田町環境美化リサイクルセンターの解体事業と、郷ノ浦、勝本焼却場跡地の公園整備をする。

⑥ 地産地消推進対策 650万円

焼酎の原料となる大麦の安定生産・供給を図るため、大麦生産に対する奨励補助金を交付する。（10aあたり5,000円）

⑦ 壱岐市食材まつり（仮称） 100万円

豊かな壱岐の食材を活用した大衆料理や名物料理の認知度の向上を図り壱岐製品の消費拡大につなげる。

⑧ 住宅リフォーム支援 2,000万円

市内の建設業者に発注の、30万円以上の住宅リフォームに対し支援する。（補助率1/10、上限20万円）

⑨ 老朽危険家屋除去支援 250万円

老朽化し危険な空き家の解体に、工事費用の一部を補助し安全安心な住環境づくりを促進。

⑩ 旧郷ノ浦給食センター解体 1,436万4千円

旧郷ノ浦町給食センターを解体し、跡地は柳田保育所の園庭として利用する。

⑪ しま共通地域通貨発行事業 1億6,040万円

長崎県の離島の共通プレミアム付き商品券「しまとく通貨」の市の負担金。



この幟旗のお店で「しまとく通貨」が使える

⑫ 景観計画策定の業務委託 800万円

まちづくりの方向性として「自然を活かした環境にやさしいまちづくり」の実現を推進するため、景観づくりの面から計画を策定する。

13 消防庁舎建設 4億6,698万円

消防庁舎（鉄筋コンクリート造 2 階建、延面積 1,481㎡）を現庁舎東側に建設する。

14 消防庁舎建設に伴う整備 7億4,130万円

- ・消防救急無線デジタル化 5億2,749万円
- ・消防指令台（現指令台の更新整備） 2億287万円
- ・消防・防災設備移設工事 1,094万円



新消防庁舎建設地（現消防本部裏側駐車場）

◎平成 24 年度 一般会計（補正予算 8 号）

1 過疎集落等自立再生緊急対策 2,097万5千円

沓岐柚子生産組合に、那賀地区 6 次産業化推進事業としてブランド化推進事業と加工場整備事業に補助。

2 地域経済循環創造事業 1,870万円

沓岐ビジョン(株)に、沓岐の恵み通販事業としての設備投資等の補助。

3 道路改良費 1億90万円

国の補正予算による、幹線道路の点検、舗装補修へ予算追加。

4 小学校耐震補強等改修 1億4,601万4千円

盈科、勝本、霞翠小学校体育館の耐震改修工事。

5 中学校耐震補強等改修 9,635万6千円

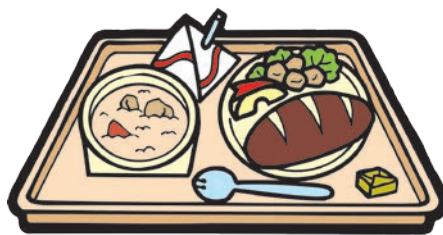
勝本中学校体育館の耐震改修工事。



『学校給食費』

平成25年2月会議の予算特別委員会において、新年度予算を審査した中で市の予算としては計上されていない学校給食費について議論が集中した。

平成23年度学校給食費総額	7,922万8千円
// 滞納額	118万8千円
平成22年度（H23.3月）までの滞納額	720万8千円
小学校給食費（1ヶ月分）	3,600 円
中学校給食費（1ヶ月分）	4,200 円
市内小学校児童数（H25.4月現在）	1,625人
市内中学校生徒数（H25.4月現在）	886人
その他（教職員等）	396人



Q 市の予算として計上される部分は、給食センターの総合的な経費として、施設管理費、設備、運営費等であり、給食費と呼ぶものは食材費のみを保護者に負担してもらうもの。学校給食事業費全体を把握するためにも、これを市の歳入として計上すべきではないか。

A 食材費は、受益者たる児童、生徒、教職員等々が負担するものであり、一般財源からは明確に切り離すべき。

Q 現状では公金扱いでなく雑務金という、市予算とは別枠のものとなっている。しかし学校用務給食会に補助金を出している以上、市監査委員の指摘事項にもあるように、徴収等には行政が関与すべきではないか。

A 公金となると収納率が低くなると考えられる。しかし関東には公金として取り扱っている行政区もあるようで、財務規律の面からも勉強したい。

Q 学校現場では非常事態にきており、対策として、保護者が提出する給食の申込を学期ごと、もしくは学年ごとに細かく支払意識をもたせること。滞納者にはこども手当からの天引き等は出来ないか。

A この問題について教育委員会と協議を進めていきたい。

議案と審議結果一覧表

◇ 全会一致（全員が同じ意見）の議案

（議案と審議結果一覧表）

番号	議 案 内 容	付託委員会	本会議採決結果	
(継続審査)	敬老祝金条例の一部改正	(1月) 厚生	3/19	否決
議案 1	地域防災計画（原子力災害対策編）の作成	総務文教	3/19	可決
議案 2	新型インフルエンザ等対策本部条例の制定	総務文教	3/19	可決
議案 3	空き家等の適正管理に関する条例の制定	総務文教	3/19	可決
議案 4	附属機関設置条例の一部改正	総務文教	3/19	可決
議案 5	職員の給与に関する条例の一部改正	総務文教	3/19	可決
議案 6	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	総務文教	3/19	可決
議案 7	指定地域密着型サービスに関する基準等を定める条例の制定	厚生	3/19	可決
議案 8	指定地域密着型介護予防サービスに関する基準等を定める条例の制定	厚生	3/19	可決
議案 9	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	厚生	3/19	可決
議案 10	堆肥センター条例の一部改正	産業建設	3/19	可決
議案 11	漁業集落排水処理施設条例の一部改正	産業建設	3/19	可決
議案 12	都市公園条例の一部改正	産業建設	3/19	可決
議案 13	移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定	産業建設	3/19	可決
議案 14	公共下水道条例の一部改正	産業建設	3/19	可決
議案 15	市道の構造の技術的基準を定める条例の制定	産業建設	3/19	可決
議案 16	道路標識の寸法を定める条例の制定	産業建設	3/19	可決
議案 17	移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の制定	産業建設	3/19	可決
議案 18	河川管理施設等構造条例の制定	産業建設	3/19	可決
議案 19	市営住宅条例の一部改正	産業建設	3/19	可決
議案 20	水道事業の設置等に関する条例の一部改正	産業建設	3/19	可決
議案 21	簡易水道事業の設置に関する条例の一部改正	産業建設	3/19	可決
議案 22	病院事業の設置等に関する条例の一部改正	厚生	3/19	可決
議案 23	壱岐市民病院及びかたばる病院診療費、使用料及び手数料徴収条例の全部改正	厚生	3/19	可決
議案 24	壱岐市民病院及びかたばる病院職員の宿舍管理等に関する条例の一部改正	厚生	3/19	可決
議案 25	消防関係手数料条例の一部改正	総務文教	3/19	可決
議案 26	公の施設を長期かつ独占的に利用させることについて	総務文教	3/19	可決
議案 27	公の施設の指定管理者の指定（郷ノ浦町デイサービスセンター）	厚生	3/19	可決
議案 28	公の施設の指定管理者の指定（勝本町ふれあいセンターかざはや）	厚生	3/19	可決
議案 29	公の施設の指定管理者の指定（芦辺町クオリティーライフセンターつばさ）	厚生	3/19	可決
議案 30	公の施設の指定管理者の指定（石田町総合福祉センター）	厚生	3/19	可決
議案 31	公の施設の指定管理者の指定（へい死獣畜一時保管処理施設）	産業建設	3/19	可決
議案 32	公の施設の指定管理者の指定（勝本総合運動公園）	産業建設	3/19	可決
議案 33	市道路線の認定	産業建設	3/19	可決
議案 34	市道路線の廃止	産業建設	3/19	可決
議案 35	平成24年度一般会計補正予算（第8号）	予算特別	3/19	可決
議案 36	平成24年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	厚生	3/19	可決
議案 37	平成24年度介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	厚生	3/19	可決

番号	議 案 内 容	付託委員会	本会議採決結果	
議案38	平成24年度簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)	産業建設	3/19	可決
議案39	平成24年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)	産業建設	3/19	可決
議案40	平成25年度一般会計予算	予算特別	3/19	可決
議案41	平成25年度国民健康保険事業特別会計予算	厚生	3/19	可決
議案42	平成25年度後期高齢者医療事業特別会計予算	厚生	3/19	可決
議案43	平成25年度介護保険事業特別会計予算	厚生	3/19	可決
議案44	平成25年度簡易水道事業特別会計予算	産業建設	3/19	可決
議案45	平成25年度下水道事業特別会計予算	産業建設	3/19	可決
議案46	平成25年度特別養護老人ホーム事業特別会計予算	厚生	3/19	可決
議案47	平成25年度三島航路事業特別会計予算	総務文教	3/19	可決
議案48	平成25年度農業機械銀行特別会計予算	産業建設	3/19	可決
議案49	平成25年度病院事業会計予算	厚生	3/19	可決
議案50	平成25年度水道事業会計予算	産業建設	3/19	可決
議案51	市職員の給与の特例に関する条例の一部改正について	総務文教	3/19	可決
議案52	市教育委員会委員の任命について	省略	3/19	同意
議案53	市監査委員の選任について	省略	3/19	同意
議案54	市固定資産評価審査委員会委員の選任について(4名)	省略	3/19	同意
請願1	旧箱崎中学校運動場埋設水路鉄管の取替えに関する請願	産業建設	3/19	継続審査
陳情1	年金2.5%の削減中止を求める陳情	厚生	3/19	採択
要望1	地方自治法第252条の43第1項「個別外部監査契約」についての要望	総務文教	3/19	継続審査
議員発議1	市議会委員会条例の一部改正について	—	2/27	可決

◇ 賛否(賛成、反対)のあった議案

○・・・賛成 ×・・・反対

議案名番号	久保田恒憲	呼子好	音嶋正吾	町田光浩	小金丸益明	深見義輝	町田正一	今西菊乃	市山和幸	田原輝男	豊坂敏文	鵜瀬和博	神原伸	久間進	大久保洪昭	瀬戸口和幸	牧永護	中田恭一	賛成	反対	結果
(継続審査) 敬老祝金条例の一部改正	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	18	0	否決
議案51 市職員給与条例の特例一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	3	15	可決

市山 繁議員は議長のため採決には加わりません。



私たちの願い

旧箱崎中学校運動場埋設水路鉄管の取替えに関する請願

箱崎中学校運動場に水路として埋設している鉄管が、老朽化により腐食が進み水漏れが激しく陥没の恐れがある。近隣の天井田地区水利組合と大左右ファームの水利に影響するため早急な整備を要請。

請願者 大左右ファーム組合長外4名

年金2.5%の削減中止を求める陳情

今年10月から3年間で年金を2.5%削減する法案が成立したが、高齢者の問題だけでなく自治体の収入減に直結し、深刻な不況が続く日本経済への打撃となる。この年金削減の流れを変えたいという趣旨に理解を求める陳情。

陳情者 全日本年金者組合 長崎県本部

地方自治法第252条の43第1項「個別外部監査契約」についての要望

住民監査請求等の特例における「個別外部監査契約」の為の条例を制定し、外部監査請求が行われるよう要望。

要望者 芦辺町男性

委員会レポート

ミルちゃん

キクちゃん

ユウくん



☆各委員会の審査状況を報告します。



予算特別委員会の様子

予算特別委員会

委員長：榊原 伸
副委員長：今西 菊乃
委員：全議員
(議長・オブザーバー)

平成 24 年度一般会計補正予算（第 8 号）及び平成 25 年度一般会計予算について、13 日～ 14 日の両日、活発な審議を行い可決とした。

本市の財政は市税などの自主財源に乏しく、収入の多くを地方交付税や国庫支出金に依存している。一般財源不足については、財政調整基金や減債基金等の取り崩しにより対応しており、引き続き厳しい財政状況である。

新年度予算については、昨年が市長選挙との関係もあり骨格予算だったことから、大幅な増額予算となっている。事務事業については、市民意識、国、県、社会情勢の変化、経済の動向を注視しながら、自主性と責任により限られた財源を効率的に活用し、地域経済と住民福祉の増進及び、市民と行政との協働による各種事業の推進を図ってほしい。

総務文教常任委員会

委員長：今西 菊乃
副委員長：久間 進
委員：中田 恭一、榊原 伸
小金丸益明、呼子 好

本委員会に付託された議案 10 件、要望 1 件を審査した。議案 10 件を可決し、要望 1 件は継続審査とした。

◎市附属機関設置条例の一部改正は、庁舎建設検討委員会での審議は建設場所、規模、機能構想案等であり、今後、地区事務所の管理・運営についても行政区の見直しを含め早急に検討すべき。芦辺小・中学校の耐震化問題の対応も迅速に審議機関を立ち上げ取り組むべき。

◎市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正は病院企業団の給与規定に合わせるための改正。

◎市職員の給与の特例に関する条例の一部改正は、昨年に引き続き給与の 5 % をカットするものである。全国的には、アベノミクス政策での給料アップの国の方針には反するが、彦根市の経済状況を鑑み、職員組合との交渉も出来ており可決とした。

◎「個別外部監査契約」についての要望は、趣旨は理解するが 1 件当たりかなり高額な費用となる事がある。今年度より顧問弁護士との契約もあるので慎重に審議をする。



石田町筒城にオープンした「吉岐の郷」を視察

当委員会に付託された17議案は全て原案可決とした。12月会議から継続審議としていた「敬老祝金条例の改正」は条件を付して否決。条例改正の検討を重ね再提出を求めた。

①現在の敬老祝金は、年に一度80歳以上の全員に5千円を支給されているが、祝い金の本来の趣旨から「節目支給」に改め、金額を明示した条例に。

また、年々参加者が減少している敬老会行事についても再考されることを求めた。

②国保特別会計予算は、合併前6億以上あった基金も現在は1億になる。一般会計から2億を繰り出して予算を作成している状況。長期計画を早急に作成することを求めた。

③介護保険特別会計予算は、見守りサポーター制度の導入、特養の新規建設、グループホームの建設等により今後負担増が予想される。

④病院事業会計は、かたばる病院との統合、企業団加入条件となる改革、医師確保など明るい展望も見られる。



議案22件・請願1件の付託を受け審査し、議案は全て可決した。

議案の中で、上位法の改正に伴う条例の一部改正が6件、第2次一括法（地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備）に関する法律の施行に伴う条例制定が5件で、不利益や不都合などを極力減らすために一時的な緩和措置が設けられている。

平成24年度補正予算及び平成25年度予算の中で、下水道使用料徴収に関しては滞納額が少ない内に対策を打ち出し、必要な体制の整備を図りたい。

また、*請願第1号旧箱崎中学校運動場埋設水路鉄管の取替えに関する請願については、さらに慎重な審査を必要とするため、継続審査とした。



*請願現場視察

中村出征雄議員、安らかに。



故・中村出征雄氏
(享年70歳)

市議会議員、中村出征雄氏が平成25年1月28日ご病気のため永眠されました。

中村議員は、石田町職員を退職後に平成15年石田町議会議員に初当選。以来9年8カ月を議会議員として務められ、特に福祉政策に力を入れ市民の暮らしを支えるべく、地域貢献に励み奔走されたお姿は、我々議員の手本でありました。

中村出征雄議員、お疲れ様でした。
安らかに眠りください。

中村出征雄議員履歴

	自	至	職 名 等
公選議員履歴	平成15年4月30日	平成16年2月29日	石田町議会議員（町村合併）
	平成16年3月 1日	平成17年6月24日	吉岐市議会議員（辞職）
	平成17年8月 7日	平成21年8月 6日	吉岐市議会議員
	平成21年8月 7日	平成25年1月28日	吉岐市議会議員
常任委員等履歴	平成15年4月30日	平成16年2月29日	総務文教厚生常任委員会委員
	平成16年3月 8日	平成17年6月24日	厚生常任委員会委員
	平成17年8月17日	平成21年8月 6日	厚生常任委員会委員
	平成21年8月12日	平成23年8月11日	厚生常任委員会委員
	平成23年8月12日	平成24年2月14日	議会運営委員会副委員長（辞任）
	平成23年8月12日	平成25年1月28日	産業建設常任委員会委員
特別委員履歴	平成19年3月20日	平成20年2月29日	議会活性化特別委員会委員
	平成19年12月21日	平成21年7月14日	一支国博物館（仮称）建設等に関する調査特別委員
	平成21年9月18日	平成22年3月14日	原の辻関連事業調査特別委員会委員
	平成23年9月22日	平成25年1月28日	航路対策調査特別委員会委員



一般質問

9人が登壇



芦辺町 たかのはら公園 でお花見



豊坂 敏文 議員

◎ 大気汚染物質の対策を

中国からの大気汚染物質、黄砂とPM2.5の人体への影響を市民が危惧している。

特に次世代を担う子ども達の為にも重視すべき問題である。外出自粛が「指針基準70マイクログラム」を超えた時の市民への周知は。

また、学校での対応は。

▲ 告知放送で速報する

市長 測定値は3月1日からケーブルテレビで適宜放送中。告知放送での速報体制を確立する。

教育長 遠足や屋外での体育等はマスク着用の励行を指示する。

◎ 通学路の安全等

今年度通学路の安全点検が実施されているが、総点検数、危険箇所数、改善状況は。

特に歩道のない道路は路側帯を設置した安全策を。

▲ 年次計画で対応

教育長 79ヶ所の点検の内、道路補修等の8ヶ所

を改善し、今後も年次計画で推進する。

◎ 公共施設の下水道

市の公共施設で下水道等に未接続の施設がある。特に教育施設内の未接続改修が急務。

▲ 接続を急ぐ

市長 7ヶ所ある。計画的に進める。

教育長 学校施設は耐震化工事の際に、その他の、いまだ浄化槽もないトイレ等についても進めていきたい。



霞翠小学校前の通学路



深見 義輝 議員

Q 一次産業の活性化

①多くの特産品を誇る農水産業は、島内を支える重要な基幹産業である。振興プランを策定し長期的な戦略をすべき。

②特に水産業は厳しい状況、特産品のブランド化と高付加価値を図るため6次産業の推進を。

③地産地消はもとより、島外に向けたマーケティング（流通体制）の確立と、それを支援する壱岐産応援隊の設置を。

④産地間競争が激しい中、攻めの農水産業の発信を強化するため、行政に総合的な戦略対策課の設置を。

A 壱岐を売る拠点作り

市長

①今後、市の役割を考慮し、新たな策定では農協漁協と協議し、農水産業の振興に努める。

②2月に壱岐島活性化協議会を発足。特産品、加工品を島外へ向けた推進体制を確立し、開拓をしたい。

③24年度より、iki ikiサポートショップ制度を実施。



ゆず生産組合加工施設

全国的には今後の検討課題。

④検討する。

Q 美しい島・一支国

いまだに空き缶等のポイ捨てが無くならない。国体の開催を目前に、ポイ捨てゼロに向けた対策は。

A 市民の力で美しい島に

市長 今後も啓発活動に取り組む。大会に向けて島内一斉清掃を実施したい。



久保田恒憲 議員

Q 市の玄関・港の整備を

芦辺港ジェットフォイル待合所は看板が古い。壱岐の特徴を表した建物に改装すべき。

他の港やターミナルも、イベントや名所、特産品の表示など工夫が必要。

A 壱岐らしさを工夫

市長 提案を研究し各ターミナルの工夫を考えたい。芦辺港ジェットフォイル待合室は早急に修繕する。

Q ゴミの無い道路対策を

空き缶やゴミの投げ捨てがひどい。デポジット制度等の効果的な対策を取り、おもてなしの島にすべき。

A 啓発の方法を考える

市長 例えばケーブルテレビで子どもたちから呼びかける方法など研究したい。

Q 国体を盛り上げよう

来年に迫った国体だが、盛り上がりには欠ける。今後の対策は。

A 盛り上げを加速する

市長 標語コンクールや“がんばくん”でPRを行っているがプレ大会を機に盛り上げの加速に努める。



芦辺港ジェットフォイル待合所前

Q イベント創設の取り組み

継続的な交流人口の増加策として、新たなイベントを考える必要がある。

A 国体を見据えて

市長 一過性でない継続性のイベント等を今の段階から考えたい。

Q 功労者に表彰を

市の表彰制度が活用されていない。介護予防に取り組んでいるサロン等、長年の地道な貢献活動に取り組んでいる人たちを積極的に表彰することが活性化に繋がると思うが。

A 合併10周年で実施

市長 表彰は地域貢献活動を継続するエネルギーになる。今まで表彰してこなかった事を反省し、来年の10周年にそれぞれの分野で努力された方を表彰したい。その後も継続し、表彰制度を活かす取り組みをしていく。



呼子 好議員

Q 小学校の耐震と統廃合

- ①耐震診断の結果、芦辺小学校と芦辺中学校はコンクリート強度不足で改修ができない事が判明。
- ②小学校は地域文化の拠点ではあるが、統廃合を視野に議論し、子ども達の安全

安心を最優先に結論を。

- ③小学校・中学校の一貫校の研究を。

A 芦辺小・中校舎は新築

市長

- ①27年度までに校舎、体育館の耐震工事を実施し、芦辺小学校、芦辺中学校は建替えざるを得ない。
- ②小学校校舎の建替えは、近隣校との統廃合も視野に25年度早々、検討委員会を立ち上げる。
- ③検討委員会の中で議論する。

Q 商店街の活性化

- ①沓岐の王都、郷ノ浦商店街の活気がない。空き店舗を整備し駐車場にし、空き家を島内外の高齢者、弱者に斡旋しては。
- ②旧交通ビルの利活用の検討は。
- ③沓岐物産館の建設は。



瀬戸口和幸 議員

Q 災害応援協定等について

応援協定とは、災害発生時に応急復旧のための支援活動に関して自治体と民間業者等が締結する協定。

締結業者等との平時から

の協力体制及び情報伝達体制が整備され、円滑な支援体制が図られる利点がある。

- ①沓岐市では6団体と締結しているが、更に医療、輸送、避難収容、災害広報及び物資調達等についても早急に締結を進めるべきでは。
- ②職員応援派遣中の福島原発事故被災の檜葉町と、災害に学び原子力災害への対処のノウハウを得る面からも協定を結んではどうか。
- ③地域防災計画の原子力災害対策編には、島外避難が必要になった時の具体的な避難要領が触れてないが、沓岐市の特殊性から手落ちではないか。
- ④同計画の細部の具体的な行動計画はいつまでに作成するのか。

A 各業界と締結を図る

A 商工会と協議

市長

- ①商工会と協議、検討する。
- ②所有者と4月に会い、考えを聞く予定。
- ③補助制度等を集めてや



閉鎖したままの交通ビルりたい。今、国の思い切った経済対策にいかに応えるかである。

Q 職員のやる気

特に嘱託職員は他職（企業・自衛隊）の経験が豊富。友人知人の人脈を通じ、沓岐の宣伝マンとして期待できる。

A やる気を引き出す

市長 技術、ライセンスを持った職員は島外とのパイプがある。研究したい。

Q 住宅リフォームの支援

建設業の仕事が少ない中、大変喜ばしい補助金制度であるが補助率10%の最高20万円の引き上げを。

A 県の補助事業を活用

市長 県の安全型、省エネ、防災型リフォーム住宅支援事業等が予定されており、これと併せた補助金の利用をお願いしたい。

市長

- ①県には各種業界との応援協定が締結されており、これを参考に市も直接締結を進め、災害時の連携が深まり円滑な対応が図られるようにしたい。
- ②檜葉町は現在災害復旧に懸命に取り組んでおり、協定を結ぶことは檜葉町の負担を増す。将来的に、時機を見て進めたい。
- ③広域避難計画の策定は県との調整が必要。避難受入先の選定、輸送手段の確保等は市単独ではできないので、国県の計画との整合性を図るべく協議を行う。
- ④地域防災計画を補完する活動計画が必要。今は全ての計画の作成時期の明言はできない。



県の防災ヘリコプター



田原 輝男 議員

◎ 公共施設の管理体制

①市庁舎建設検討委員会を立ち上げ協議を進めるとの事であるが、立ち上げはいつ頃か。

現在の4庁舎は避難所となるのか。その場合、耐震性はどうか。

②市営住宅耐震調査とその管理体制について、住宅の耐用年数はかなり経過しており、早急な対策をして建替えの場合は木造を要望する。

③へき地保育所と隣接する地区民センターの管理体制について、今後どの様に考えているか。

④小学校校舎について、耐震工事対象外の校舎の補修を何回も質問してきたが、何ら対応がされない。

子ども達が安全安心に学べる施設としてほしい。

A 先ず耐震診断を

市長

①新年度早期に立ち上げ、新庁舎の機能、規模、建設場所、現4庁舎の活用等あらゆる方面から協議をし答申を出してもらう。



市営住宅 赤滝団地（勝本町）

②平成25年度から年次的に住宅の耐震診断を進める予定。昭和56年5月末以前建築の古城団地、赤滝団地、目坂団地、新中尾団地、久喜団地の計9棟が対象となる。

③保育所と併設する地区民センターは保育所と同時に耐震診断を、他は別途に行う。行政区の見直しも考慮しながら集会施設等の地区拠点施設のあり方を含め研究していく。

教育長

④安全安心な学校生活を確保するのは私どもの責務である。屋根の雨漏り防止工事や外壁劣化の補修など、これまでどおり対応していく。



榊原 伸 議員

◎ チャンス到来

壱岐に設立された「一般社団法人 日本漁場藻場研究所」について、市長は施政方針で「この研究所は、漁業者と一体となり壱岐海域の藻場回復などの調査、分析、データ収集などを実施し、海の環境改善を普及啓発する拠点をつくり地域振興に寄与する。市としても企業誘致として取り組みたい。」と発言された。

私もこの研究所は大いに歓迎したいし、構想も大きく国際的な繋がりもあり交流人口も増えると思う。

県としても非常に期待をして、藻場の研究、実験、人材育成などを事業委託している。

これをチャンスと捉えるならば、壱岐の周りの海は面積的にも、暖流や寒流が流れる環境にしても日本の縮図と考え、海中環境調査のデータ作成から取り組むべきと考える。そのための予算を国県に要望すべきではないか。

A 国・県・壱岐市との連携

市長 この研究所を壱岐市に設立していただき感謝



藻場研究所として利用される予定の旧鯨伏中学校

している。長崎県の緊急雇用対策事業も含めた委託契約事業である。平成25年度への取り組みは、海域調査、地域ヒアリング調査及び分析、漁場藻場再生のための企画立案及び実施、海の森づくりの啓発普及活動と人材育成、藻場増殖と種苗増殖や海藻の商品価値創出の研究、海洋調査再生調査研究、国内外研究機関との共同研究、その他漁場藻場関連の事業ということである。

壱岐市としては企業誘致と位置づけ、場所の提供、情報の提供を考えている。また、国際的な情報発信の拠点として設立されており、国県とも連携をとりながら取り組んでいく。



音嶋 正吾 議員

◎ 市政の現状と課題

景気対策重視の予算編成について

- ①本年度予算の重点施策は
- ②積極的な投機的投資をすべし
- ③合併後のインフラ整備は

進捗したが、地元企業参入の機会が著しく少なく、投資効果に相乗効果が低い。

④民間事業所の経営悪化により官民給与格差が拡大しており、行政は本来の任務を遂行していない。市長はトップセールスマンであるべき。

⑤病院企業団加入条件として、米倉企業長も職員給与見直しを示唆された。施政方針で市長は、職員給与の見直しを表明されたが、自らの給与を見直す考えはあるのか。

▲ 全力で臨む

市長

- ①第1次産業振興策・病院企業団加入
- ②農漁業とも担い手対策を含め、海上輸送運賃支援を創設。しま通貨発行事業による、交流人口拡充事

業の新設。国の財政支出を最大限活用した、予算編成を弾力的に取り入れる。

③大型事業であり、島内事業者には波及効果が軽微であった。今後きめ細かに対処する。

④全国離島振興協議会会長として、本市及び各離島の振興発展に全力で取り組む。

⑤以前は給与3割カット、退職金5割カットを実施していたが、平成23年6月の一般質問答弁で「能力がないから下げるという捉え方をされるのであれば、次回もし当選させて頂いたならば、給与、退職金のカットはやめたい。」と明言している。



2月5日に開催された壱岐市民病院「市民フォーラム」



鵜瀬 和博 議員

◎ 観光こそ、チーム壱岐で

長引く不況や観光ニーズの多様化の中、船運賃2割低減化効果もあり九州郵船とORCの乗降客数は対前年比1.2%増。今年はプレ国体、全国離島振興協議会など大型イベントを予定。

- ①観光窓口一本化に向けた観光協会、体験型観光受入協議会、イベント振興会との調整状況とその名称、体制は。
- ②芦辺フェリーターミナルの空室活用を。プレ国体に向け体制強化を。イベント告知用歓迎ボードの設置を。
- ③今年度景観計画が策定されるが、街だけでなく、周辺も含め策定すべき。風光明媚な海岸道路を風景街道に指定し、新たな観光資源に。
- ④中学校跡地や耕作放棄地の解消活用のため壱岐をオリーブの島として観光産業・雇用創出の動きがあり、奨励しては。跡地活用計画の進捗は。

▲ おもてなし機運を高める

市長

- ①島全体の観光振興を担う中核組織として一般社団

法人、壱岐市観光連盟（仮称）を平成25年4月1日設立予定。市から専務理事、事務局次長等派遣予定。

②空室の1階は観光案内所、しまとく通貨の販売窓口。2階の計画は発表の段階ではない。国体運営を万全にするため市役所内に市実施本部を設置。教育委員会も国体準備室を推進課に格上げ、増員体制強化を図る。各港、空港の歓迎ボード設置は早急に検討する。

③住民参加型の自立的な景観づくりにつなげるように進めていく。

④オリーブ振興は技術的な問題等もあるのでJAと協議する。中学校跡地6校中、箱崎中運動場の一部を特養施設用地に、渡良中を渡良小に、鯨伏中を藻場研究所に提供。



壱岐市観光連盟のに入ったビル（壱岐法務局前）

市民の 声



議会だよりクイズの
応募の中で
お寄せいただいた
ご意見ご感想を
ご紹介します。

春の名所
となった
チューリップ
畑

壱岐しま“春風情”

もっと介護
する人の賃金を
上げてほしい
です。52歳

水道の漏水率
にはびっくりです。
早く手をうって！
68歳

高齢者に安心な、
若者には住み続けたい
島づくりを期待しま
す。がんばれ壱岐市!!
62歳

いつも市民病院
の今後の見通しが報
告されていますが、企
業団加入がどの程度の
確率か気になるこ
ろです。85歳

原発に対する
説明の分りやす
い広報を望んでい
ます。85歳

2014年国体 を
期に島民みんながゴ
ミのないきれいな町に
なるよう努力したら
と思います。
72歳

旅立ち
船出の
お見送り

私は仕事上、県
外の人と触れ合う機
会が多いので「是非し
まとく通貨」をすすめ
ようと思います。
22歳

お彼岸
美濃の谷
参り

カイちゃん

トシキくん



第16回クイズの答え

①しまとく ②69 ③9

応募総数22人で全問正解は19人です。
ご応募ありがとうございました。

インちゃん

さえちゃん

コジロー

いようちゃん



～ 第16回クイズの当選者 ～

森村キミ子様 柳澤キミエ様
濱崎佳世子様 小橋みのり様
山川 房代様(順不同)
おめでとうございます！

クイズに答えて

図書カード(1,000円)
が当たります。皆さんの
ご応募待ってま～す!!

クイズ

「次の問題に答えよう」

○に当てはまる言葉は何か？

- その① 市の避難施設は全部で○○ヶ所。
その② 地域づくりのため大都市から募集する隊
員を○○○○協力隊という。
その③ 住宅リフォームの補助金は、費用の10
分の1(上限○○万円)まで。



ヒント この議会だよりの中に答えがあり
ますので、最初から最後まで良く
読んでみてください。

《応募方法》クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、
ハガキでご応募ください。

議会だよりを読んだ感想や、市政へのご意見・ご要望
などもお書き添えください。

ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介
させていただきます。

正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円
分をお贈りします。

(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》〒811-5521

長崎県長崎市本町西戸触 182-5

長崎市議会事務局 宛

《しめきり》平成25年5月31日(当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表および『市民の声』等の
目的以外には利用いたしません。

編集後記

●より読みやすいようにと、今号から全て横書き
に統一し、開きも変えてみました。いかがだった
でしょうか？ 町田 光浩

●体を動かすより文章に取り組む時間が多くなり
、執筆活動に転向かと思う時がある。「ター！」
気合いはもはや不要か。 久保田恒憲

●隣国の大国からの領海侵犯に加え、PM2.5の
領空侵犯。大国としての誇りとプライドを保持し
てほしいものです。 瀬戸口和幸

●合併して長崎市発足から来年で早10年となり
ます。「合併して良かった」と胸を張って子孫に
継承していきたい。 榊原 伸

●人類史上最大の数学の難問「リーマン予想」を
証明すべくゼータ関数を勉強し、頭の体操をして
いるが理解できません。 町田 正一

●質実剛健(飾りがなく真面目で心身ともに健
やか)、率先垂範(他人より先に自分が手本を示
す)、これが日本人の美德である。 呼子 好

お知らせ

長崎市ホームページ



<http://www.city.iki.nagasaki.jp>の市議会の
インデックス(見出し)を検索すると、市長行
政報告および議員の一般質問の音声を生で聞く
ことができます。また市議会会議録は、議事
事務局・市役所本庁(総務課)・各庁舎(市民生活
班)・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。

公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・
見舞い等の品を送ることや、
暑中見舞い・年賀状などの挨拶
状や有料の広告は禁止されて
おります。

市民みなさまのご理解とご
協力をお願い申し上げます。

長崎市議会議員一同

編集 議会広報特別委員会

〒811-5521

長崎県長崎市本町西戸触 182-5

TEL: 0920-42-1111

FAX: 0920-42-0096

【E-mail】iki-gikai@city.iki.lg.jp

【URL】<http://www.city.iki.nagasaki.jp>



長崎市議会だよりは地球に優しい植物油インキで印刷されています。